「大口高校ふるさと歴史講座」特別講演会

日時 令和6年11月30日(土)
14:00～16:00（13:00開場）

会場 伊佐市文化会館大ホール
（先着550人）

入場無料
但し，資料代500円が必要です。

事前の申込みは不要です！

講師 きりの さくじん 桐野作人さん（歴史作家）

演題 「五代友厚と寺島宗則」
～西洋を体験した二人の鹿児島県人が進めた明治日本の近代化～

【桐野作人さんのプロフィール】

1954年生まれ，出水市出身。出水高等学校，立命館大学文学部史学科卒業。歴史関係出版社の編集長を経て，編集プロダクションを設立。
歴史研究家で歴史作家。南日本新聞に「かごしま街道見聞記」を連載中。
専門は戦国時代と幕末明治維新で，前者には『関ヶ原 島津退き口』や『島津義久』など，後者には『さつま人国誌 幕末･明治編』や『曙の獅子』などの著書がある。武蔵野大学政治経済研究所の客員研究員。

【講演要旨】

慶応元(1865)年，大口木之氏の領主である新納久脩を団長とする薩摩藩の使節団が，留学生を伴いイギリスに渡りました。経済使節としてヨーロッパ各地の都市を回り，武器弾薬･紡績機械などの購入を行った五代友厚。外交使節としてイギリス政府との交渉に当たった寺島宗則。今回の講演では，この二人が帰国後，渡欧経験を活かしてどのように明治日本の礎を築いていったのか見ていきたいと思います。
また，二人が牽引した近代化が鹿児島の大口にどのように及んだのかについても触れてみたいです。

「若き薩摩の群像」（中村晋也作）
鹿児島市JR鹿児島中央駅前
（左：五代友厚，右：寺島宗則）

本講演会は「大口高校ふるさと歴史講座」の一講座に位置付けられています。したがって，同講座の受講者は既に資料代を徴収していますので，今回別途に支払う必要はありません。

- 主催：鹿児島県立大口高等学校，大口高校PTA，大口高校同窓会
- 共催：伊佐市，伊佐市教育委員会
- 後援：鹿児島大学法文学部付属「鹿児島の近現代」教育研究センター，南九州郷土研究会，伊佐古文書研究会，大口城跡を愛する会

お問合せ：鹿児島県立大口高校（0995-22-1441）